

- 9月25-26日に開催されたFOMCの議事要旨では、金融政策がやや引き締め気味になる必要があるとの見方を数人の参加者が示したことなどから、10月17日の米国市場では10年国債利回りが上昇。
- 米国株式市場は、同議事要旨の影響が限定的なものにとどまったほか、VIX指数が前日の水準を小幅に下回るなど、足もとで徐々に落ち着きを取り戻しつつあると思われる。

FOMC議事要旨公表後、米金利は上昇

9月25-26日に開催された米連邦公開市場委員会（FOMC）の議事要旨が10月17日に公表されました。議事要旨では、金融政策がやや引き締め気味になる必要があるとの見方を数人の参加者が示したほか、政策金利を一時的に、景気を過熱も冷ましもしないとされる中立金利以上に引き上げることが必要になるとの見方を幾人かが示したことが記されました。

議事要旨公表を受けた17日の米国市場では、10年国債利回りが前日の3.16%台から3.20%台へ上昇しました。ただし、同議事要旨では、現在の緩やかなペースでの利上げが引き続き支持されるなど、総じてこれまでの米連邦準備理事会（FRB）の金融政策に対する姿勢に変化はみられなかったことから、同利回りの水準は今月上旬に一時記録した3.25%台を下回る水準にとどまっています。

米国株式市場への影響は限定的なものにとどまる

米国株式市場では同議事要旨公表後、軟調に推移する場面もありましたが、米国主要株価指数の1つであるS&P500種指数とハイテク株の比率の高いナスダック総合指数は前日とほぼ変わらずの水準で終了しました。ダウ・ジョーンズ工業株価平均（NYダウ）は前日比で91ドル下落したものの、前日に決算発表を行ったIBMの下落寄与度が75ドルあることを考慮すると、影響は限定的なものにとどまったとみられます。

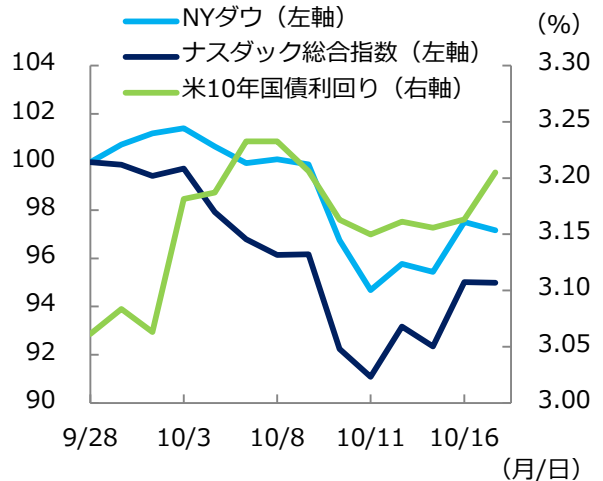
また、S&P500種指数のオプションから算出された変動性（ボラティリティ）で、市場参加者の不安心理を映すとされるVIX指数は、同議事要旨公表後に上昇する場面もありましたが、取引終了にかけては前日の水準を小幅に下回りました。

こうしたことなどから、米国株式市場は足もとで徐々に落ち着きを取り戻しつつあると思われる。

※上記は過去の情報および作成時点での見解であり、将来の運用成果等を示唆・保証するものではありません。

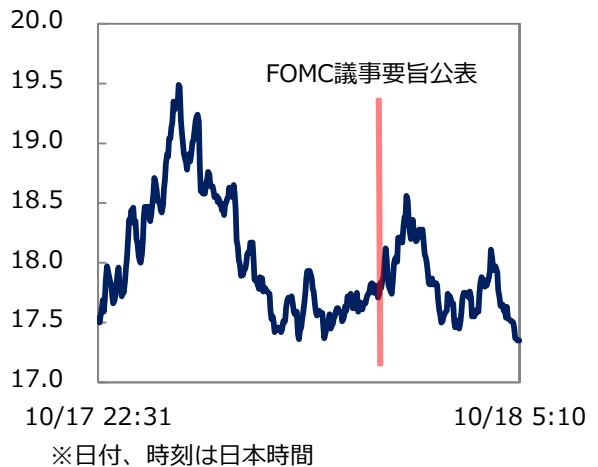
※巻末の投資信託に係るリスクと費用およびご注意事項を必ずお読みください。

米国株と米金利の推移



※期間：2018年9月28日～2018年10月17日（日次）
米国主要株価指数は9月28日＝100として指数化

17日のVIXの推移



出所：ブルームバーグのデータをもとにアセットマネジメントOne作成

投資信託に係るリスクと費用およびご注意事項

【投資信託に係るリスクと費用】

● 投資信託に係るリスクについて

投資信託は、株式、債券および不動産投資信託証券（REIT）などの値動きのある有価証券等（外貨建資産には為替リスクもあります。）に投資をしますので、市場環境、組入有価証券の発行者に係る信用状況等の変化により基準価額は変動します。このため、投資者の皆さまの投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。ファンドの運用による損益はすべて投資者の皆さまに帰属します。また、投資信託は預貯金とは異なります。

● 投資信託に係る費用について

[ご投資いただくお客さまには以下の費用をご負担いただきます。]

■ お客さまが直接的に負担する費用

購入時手数料：上限3.78%（税込）

換金時手数料：換金の価額の水準等により変動する場合がありますため、あらかじめ上限の料率等を示すことができません。

信託財産留保額：上限0.5%

■ お客さまが信託財産で間接的に負担する費用

運用管理費用（信託報酬）：上限 年率2.6824%（税込）

※上記は基本的な料率の状況を示したものであり、成功報酬制を採用するファンドについては、成功報酬額の加算によってご負担いただく費用が上記の上限を超過する場合があります。成功報酬額は基準価額の水準等により変動するため、あらかじめ上限の額等を示すことができません。

■ その他費用・手数料

上記以外に保有期間等に応じてご負担いただく費用があります。投資信託説明書（交付目論見書）等でご確認ください。その他費用・手数料については定期的に見直されるものや売買条件等により異なるため、あらかじめ当該費用（上限額等を含む）を表示することはできません。

※ 手数料等の合計額については、購入金額や保有期間等に応じて異なりますので、あらかじめ表示することはできません。

※ 上記に記載しているリスクや費用項目につきましては、一般的な投資信託を想定しております。

費用の料率につきましては、アセットマネジメントOne株式会社が運用するすべての投資信託のうち、徴収するそれぞれの費用における最高の料率を記載しております。

※ 投資信託は、個別の投資信託ごとに投資対象資産の種類や投資制限、取引市場、投資対象国が異なることから、リスクの内容や性質、費用が異なります。投資信託をお申し込みの際は、販売会社から投資信託説明書（交付目論見書）をあらかじめ、または同時にお渡ししますので、必ずお受け取りになり、内容をよくお読みいただきご確認のうえ、お客さまご自身が投資に関してご判断ください。

※ 税法が改正された場合等には、税込手数料等が変更となることがあります。

【ご注意事項】

- 当資料は、アセットマネジメントOne株式会社が作成したものです。
- 当資料は、情報提供を目的とするものであり、投資家に対する投資勧誘を目的とするものではありません。
- 当資料は、アセットマネジメントOne株式会社が信頼できると判断したデータにより作成しておりますが、その内容の完全性、正確性について、同社が保証するものではありません。また掲載データは過去の実績であり、将来の運用成果を保証するものではありません。
- 当資料における内容は作成時点のものであり、今後予告なく変更される場合があります。
- 投資信託は、
 1. 預金等や保険契約ではありません。また、預金保険機構および保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。加えて、証券会社を通して購入していない場合には投資者保護基金の対象にもなりません。
 2. 購入金額について元本保証および利回り保証のいずれもありません。
 3. 投資した資産の価値が減少して購入金額を下回る場合がありますが、これによる損失は購入者が負担することとなります。

【指数の著作権等】

- ダウ・ジョーンズ工業株価平均およびS&P500種指数は、S&Pダウ・ジョーンズ・インデックスLLCまたはその関連会社の商品であり、これを利用するライセンスが委託会社に付与されています。S&Pダウ・ジョーンズ・インデックスLLC、ダウ・ジョーンズ・トレードマーク・ホールディングスLLCまたはその関連会社は、いかなる指数の資産クラスまたは市場セクターを正確に代表する能力に関して、明示または黙示を問わずいかなる表明または保証もしません。また、ダウ・ジョーンズ工業株価平均およびS&P500種指数のいかなる過誤、遺漏、または中断に対しても一切責任を負いません。
- ナスダック総合指数に関する著作権等の知的財産その他一切の権利はNasdaq Stock Market, Inc.に帰属します。
- VIX指数はシカゴ・オプション取引所が算出する指数です。